

## 世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくこのコーナー。今回は、ブラジル国サンパウロに所在する「在伯栃木県人会」の坂本アウグスト進会長に、同県人会の活動について執筆いただきました。坂本様、ありがとうございました。在伯栃木県人会の皆さまのますますのご活躍を期待しています。※皆さまからの執筆ご希望の連絡をお待ちしています！

### 在伯栃木県人会

会長 坂本アウグスト進

在伯栃木県人会は1959年に設立されました。現在約450人の会員はサンパウロ州を主にパラナ州、リオ・デ・ジャネイロ州、サンタ・カタリナ州、首都ブラジリアにも在住しています。

栃木会館はサンパウロ市の中心部に位置していて、学生寮もあり、地方の会員子弟の勉学に役立っています。空きがある場合、他県の学生も利用が可能で、日本の学生寮をモデルにした、門限、規則等を入寮時にしっかり納得してもらっています。30名あまりの学生若人の集団生活はお互いに仲間を尊重し合い、助け合い、おかげさまで大学入試の結果もとてもよく、会員家族にもご満足いただいています。

当会は毎年恒例のヤキソバ会を開催して、約1000食のヤキソバを販売しています。役員、婦人部、青年部、寮生が力を合わせて行うこのイベントは会員外の人達にも大変好評です。売り上げも大事ですが、準備の一致協力の雰囲気は各世代の交流の場にもなっています。

この他に県連主催の日本祭りにも毎年参加して、郷土食広場の栃木ブースで県から送っていただいた観光地や郷土色の美しいポスターやカタログ等で母県をより多く



▲サンパウロ市の栃木会館



▲毎年約20万人が訪れる「日本祭り」で栃木県をPR

の来場者に紹介しています。また、宇都宮風の餃子、苺デザート、かんぴょう寿司、ヤキソバの販売は好評を得ています。

この日本祭りは海外で開催される日系行事では一番大きく、開催3日間の来場者は毎年20万人近く見られます。今は非日系人の来場者の数が日系人の数を上回っています。それだけ日本文化に興味を持つブラジル人が多いということです。

大規模な日本祭りの企画、準備には何か月も前から取り掛かる中、郷土食の準備会議には各県人会から代表者が参加、計100人以上がいつも栃木県人会のサロンで集まって話し合います。衛生管理局(COVISA)の祭りのための指導講習もこちらで行われます。当会館が地下鉄駅から近く便利な場所によるものだと思います。

地下鉄駅から徒歩4分という便利さから当会でされている書道、墨絵、折り紙、日本舞踊、日本語、長刀等の日本文化教室は参加者がいつも多く、毎日活発に利用されています。

その他に全伯日本語弁論大会が当会サロンで毎年開催されます、全国からの応募者が自分たちの勉強の成果を弁論の部門、スピーチの部門で披露します。中には顔を見ないと非日系人とわからないほどすばらしい日本語で話す人達もいます。

今年はコロナウイルス感染のため、3月の後半から当会は休館、すべてのイベントが中止となっていますので、一日も早くこの事態が終結するのを祈るばかりです。



▲会員が力を合わせて行う「ヤキソバ会」は大好評

連絡先: Associação Centro Social Tochigi do Brasil  
Rua Capitao Cavalcanti 56 Vila Mariana, São Paulo CEP 04017-000 BRAZIL  
e-mail: tochigikenjinkai@gmail.com